

令和4年度 第1回 西宮市環境審議会 議事録（発言要旨）

- 開催日時：令和4年10月12日（水） 10：00～12：00
 - 開催場所：西宮市役所 東館7階 701会議室
 - 出席委員：能登委員、中村委員、佐々木委員、松原委員、
北野委員、岸川委員（敬省略）
 - 欠席委員：大久保委員、中野委員、山本委員、小川委員
 - 事務局：（環境局）岩崎局長
（土木局）尼子局長（欠席）
（環境総括室）岩田室長
（公園緑化部）藤原部長
（環境学習都市推進課）小田課長、平井係長、八木係長、森園副主査
藤原副主査、内藤副主査
（美化企画課）藪内課長
（花と緑の課）船越課長、山本係長、川元係長、服部主査
（施設整備課）高橋課長
（施設管理課）大田課長
（地域コミュニティ推進課）鈴木課長、工藤係長

 - 開会の挨拶
 - ・組織改正に伴う事務局の構成変更及び人事異動に伴い変更があった事務局の職員を紹介する。（事務局）
- ### 1. 議題
- （1）協議事項
 - ①第3次西宮市環境基本計画の令和3年度実績の評価結果について
事務局より第3次西宮市環境基本計画の概要及び令和3年度実績の評価結果について説明（資料1）
 - ・プラスチック・スマート・アクションにしのみやについて説明（資料）

 - 【1. 低炭素】について
 - ・二酸化炭素の排出量について、家庭部門が44.5%減っている状況について教えてほしい。（委員）
 - 1つ目は電力排出係数の低減によるもので、2つ目は、家庭部門で省エネ家電が普及してきたこと、3つ目は、節電意識が高まったことが要因と思われる。（事務局）

- ・給水スポットについて、駅構内にあるが、多くの方に知ってもらうため設置場所を検討してほしい。(委員)
- ・低炭素について、昨年度と今年度と実績は良く、資料1_P1「今後の展開」に記載されている内容に対して、良かったため継続するのか。問題があるため、記載内容に取り組むということか。(委員)
- 脱炭素社会を目指すために、市民、事業者の一人一人のライフスタイルを見直すことや、事業者の意識の変革を促すなど市としてできることを、今後の展開として掲げている。(事務局)
- ・温室効果ガス排出量の令和10年度の△35%目標はどう考えているのか。令和元年度(2019年度)の実績では△30.2%であるので、余裕がある目標ということなのか。(委員)
- 令和4年(2022年)の2月に地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定した際に35%削減目標を設定したが、その策定過程の中で国が46%を掲げたという事情があり、令和6年度より区域施策編の後期計画が始まるため、令和5年度に改めて目標を設定する必要があると考えている。次回、中間見直しには意欲的な数字を考えたい。(事務局)
- ・家庭部門は△44.5%であり、運輸部門は△7.7%と減少幅が小さい。また、廃棄物部門は、2.1%増となっている。家庭部門より、運輸・廃棄物部門では、二酸化炭素排出量を減らすのは難しいということか。(委員)
- マイカーより公共交通機関は移動する一人あたりの二酸化炭素排出量は少ないため、移動手段の転換を進めたいと考えている。併せて、ガソリン車から電動車等への転換に向けた支援策を検討していく。(事務局)

【3. 生物多様性】について

- ・長期目標①「市内で種の絶滅を招かない」の認定は、どのように行っているのか。追加・認定を、どのように周知しているのかを、教えてほしい。また、市内で生息・生育が確認されている生き物の種数は37種増加したとあるが、数値ではなく、生き物の固有名詞で追加されたことを記載してはどうか。(委員)
- 絶滅危惧種の認定方法について、正確な確認は難しい。市としては、市民・専門家から情報を得ながら絶滅の状況について調査をしているが、現状として絶滅したとの確認はされていない。今後、追加された生き物の記載方法については、啓発ということを意識して、検討をしていきたい。(事務局)

【4. 安全・快適】

- ・感染症対策・防災に関しては資料1に記載されていないが、どうしてか。(委員)

→資料1ではなく、資料2「環境報告書」に掲載している。(事務局)

②保護樹木の指定解除について(資料3)

事務局より保護樹木の指定解除について説明

○保護樹木(第34号):令和4年8月10日に根から倒木し、伐採作業も終了している。神社内での倒木で、隣接する建物に被害なし。

○保護樹木(第108号):今年になり、葉が出ないのを確認した。幹には、きのこを多数確認。境内の中央にあり、下の保育所に倒れると危ないので、伐採を行うため、指定解除の依頼があった。

・保護樹木の現状調査は、毎年しているのかを教えてください。(委員)

→奨励金の交付を行う事務手続きの一環として、毎年現況を確認している。(事務局)

以上により、委員一同、保護樹木の指定解除について、承認。

(2) 報告事項

①西宮市環境計画推進パートナーシップ会議の各部会の開催報告

・地球温暖化対策関連事業について説明(資料4)

・「西宮市脱炭素社会に向けたロードマップ」はいつできるのか。(委員)

→ロードマップ(案)として、今年度中に策定予定である。ロードマップとして公表しないが、令和5年度の第二次地球温暖化対策実行計画の中間見直しの際に、ロードマップ(案)の内容を反映させる予定である。(事務局)

・省エネチャレンジなどのキャンペーンは、ホームページで広報しているのか。

また、その他の啓発方法はどのように行っているのか。(委員)

→ホームページで閲覧は可能である。チラシ等を配布し、周知・啓発を行っている。(事務局)

②指定袋制度の周知啓発状況について説明(資料5)

・指定袋制度の本格実施した7月、8月について、前年同月比でもやすごみは、16%減、その他プラは、72.2%増と分別回収の効果があったと考えている。

・給水スポットは、NATSの4市(西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市)と阪急電鉄との間で、9月から2か月間で設置の実証実験中である。(事務局)

③生物多様性推進部会の開催結果について(資料6)

・ナラ枯れ被害の状況について、説明。西宮市内では、平成24年度に初めて確認され、平成28年度をピークに、その後減少傾向となっている。(事務局)

・クビアカツヤカミキリという特定外来生物は、桜や桃などのバラ科の樹木に入

り、枯らしてしまうという特徴がある。見つけた自治体に連絡をしていただきたい。市内には、夙川の桜等があるため、近くを通った際に見かけた場合は、西宮市まで連絡をして欲しい。(事務局)

→桜や桃などに入られた場合、伐採しないといけないため、木の根元部分に特徴的な木くずが見つかった際は、ぜひ連絡をして欲しい。(委員)

(3) その他

①景観樹林の区域変更(予告)について説明(資料7)

・北甲子園口市民館の移転建替計画に伴い、施設の解体工事や新築工事、埋設管敷設撤去工事などにより、松並公園内の樹木の移植や伐採等が必要となる。(事務局)

→委員一同、意見はなし。

3. 閉会